ましこ文芸

俳句

一陣の風は田の神耕せり　（塙）萩庭　正幸
小飯時居ねむり誘う春日差し　（上大羽）福島　文代
小手鞠の風の跳躍ミシン踏む　（田町）飯塚えり子
卒業やあといちにちのランドセル　（下大羽）池田　幸子
武士（もののふ）の小さき墓や冴返る　（粟生）磯部　法子
紙雛の襞のささやき立子の忌　（田町）市川しず子
玉杢（たまもく）は傷癒えしあと啄木忌　（角ノ川）薄羽　豊典
行干（てさぢふす）と鳥春光を啄めり　（大沢）小川たか子
茹でてなほ庇ふ形のこごみかな　（山王前）佐藤　恵子
ケケケとてとのさま蛙水たまり　（上大羽）鈴木　英子

川柳

雪どけの朝日に笑顔福寿草　（台町）加藤よし子
地下足袋が濃い茶ほしがるティータイム　（台町）野﨑　光盛
待望の横綱に湧く大相撲　（塙）大関　栄泉
睦まじく母娘芹つむ昼下がり　（台町）桜井　トク
ゴミ拾う人に感謝の花街道　（生田目）佐藤　峰子
濃いお茶が午後の仕事に弾みつけ　（台町）石川ぶん子
新雪の白さまぶしい陽が注ぎ　（小宅）床井　和子
三月の花に無情な春の雪　（大沢）鈴木美代子
難題に長寿の知恵が光ってる　（山王前）佐藤　恵子
八十路だが背伸びしている僕の影　（道祖土）山口　秀雄

短歌

いづこよりか漂ひてくる梅の香を楽しみつつ帰る月の照る夜　（粟崎）日渡　君枝
狭き路地傘を斜めに擦れ違う笑顔で会釈雪の降る朝　（道祖土）山口　秀雄
一杯のコーヒーのにほひなつかしく過ぎゆく日々の想ひはつきぬ　（大沢）鈴木美代子
トントンと四股（しこ）踏むように足を上げ一歳の孫豆力士なり　（塙）宮本　恵美
品位なきドンの妄言恐ろしや王冠被り馬脚露（あらわ）す　（塙）矢澤　章人
このところ心落ち込むこと続き曾孫の笑顔にしばし癒やされる　（仲町）岩﨑　良子
寒風に耐えて一輪の梅が咲く土埃つづき春の息吹が　（上山）野澤　一志
境内の雨あがりの朝ミモザ咲く黄色き房にしばし佇む　（田町）豊田　君恵
診察の終わり待つ夫伏し目がち安堵の顔はにこやかに笑む　（生田目）小宅　光子
花好きの母逝きてより我が庭に枯れ紫陽花のあまた残れり　（塙）野﨑　繁

新着図書の紹介

〈一般書〉

●いい人すぎるよ図鑑
明円卓／著
佐々木日菜/著
真子千絵美/著
PHP研究所

●性格の秘密
あのひとの心に隠された
アルフレッド・アドラー/著
長谷川早苗/訳
興陽館

●極地探検家
シャクルトンの生涯
ラヌルフ・ファインズ/著
小林政子/訳
国書刊行会

●資本主義の次に来る世界
ジェイソン・ヒッケル/著
野中香方子/訳
東洋経済新報社

●心　NBAで運命を切り拓いた本当に大切な想い
渡邊雄太／著
ミライカナイ

〈児童書〉

●マンガでわかるスマホ脳の恐怖
川島隆太／監修
久方標/マンガ・イラスト
金の星社

●小学生のお友だちづきあい
小学校が１００倍楽しくなる
沼田晶弘／監修
石塚ワカメ（わかめ）/絵
KADOKAWA

●日本語発見ツアー１
意味変することば・思いこみ変することば
神永暁/監修
鈴木出版

●絵で見る日本の図書館の歴史
堀切リエ/文
奥泉和久/監修
いしいつとむ/絵
子どもの未来社

●まほろ公園で、ふりむけば
藤重ヒカル/作
小日向まるこ/絵
偕成社

読んでみませんか…

オリオンは静かに詠う

村崎なぎこ／著　小学館

他者とのコミュニケーションを避けがちな、難聴の咲季。競技かるたと出会い、ライバルとしのぎを削るようになる。大会に出るために必要な手話通訳をしてくれる担任の先生が、大会直後通訳を降りると言ってきて・・・。実際にあったインタビュー記事にインスピレーションを得て書かれた作品は、緻密な取材と地元・宇都宮を舞台に描かれています。

ひみつのたからもの

豊福まきこ/作　BL出版

ここはネコだけが住む、ネコの村。ネコはみんな魚を食べたり、小鳥を捕まえたりするのが大好き。しかし、魚を食べられないネコと、小鳥を捕まえようとしないネコがいて・・・。二匹の誰にも言えない秘密とは？誰かに知ってもらいたいけどなかなか言い出せない。そんな気持ちを抱えた二匹がどのように心を通わせていくのか。優しい絵と一緒に楽しみください。